

戦時保育の本義と實際

——昭和十八年八月戦時保育講習會講義筆記——

倉 橋 惣 三

目 次

- 一 戦時保育の意義
- 二 戦時保育の重要性
- 三 戦時保育の問題
 - (一) 保育の目的方面に就て
 - (二) 保育の方法方面に就て
 - (三) 保育の内容方面に就て
- 四 戦争それ自身の取入れ
- 五 戦時生活の取入れ

第三日——八月四日

四、戦争それ自身の取入れ

これまで戦時保育として特別に考へる必要のある事をい
ろく／＼と述べて来たのであります。即ち保育目的に關する
方で、さういふ事を考へるか、保育方法に關する方でさう

いふ事を考へるかの順序で一應申したのだが、次に全く問
題を新たにして今日の戦時それ自身が保育にさういふ關係
を持つてくるか、この點を考へたいのであります。戦時保
育は戦時目的に保育目的を合致させる事であるを考へた
のであります。更に具體的、實際的に戦争が保育にさう
いふ影響を持つてくるか、問題は積極的の消極的のありま
す。一は戦争が保育に及ぼす積極的影響であります。この
中にいろ／＼ありますが、第一に戦それ自身を保育の中に
さうもつてくるかであります。保育の中に戦をこり入れる
事であります。この點に關しては教育すべて、幼稚園教育
もその一として時世の動き、社會の變動を教育の中にこり
入れてくるのは當り前であります。國民學校に於ても行事
をこり入れることがすゝめられてゐます。たゞ問題は、幼
稚園は子供の年齢、興味が限られてゐるので、他の學校ほ
ご厳密、敏感でない趣があります。例へば本年の日本の大

きな問題は米がよく出来るかどうかいふ事でありませう。

只今の天候では大變よい出来であります、かういふ事は國民學校以上なら隨時子供に傳へなければならぬ事でありませう。農村は勿論、都市の學校においても子供に傳へられるべきことでありませう、即ちその時々々の國の出来事は教育の中に生きた教材として入れられる事はあたりまへのことであります。幼稚園では米の話は一寸不向きであります。お辨當の時に言つたつて「何もよくわからん、今喰べてゐるじやないか」(笑)といふのでありませう。かういふ風に限定されてゐますが、しかし國のしてゐる戦争については、はつきり持つて來なければなりません。南の島の地理も、戦争目的も幼児には話したつてわかるまい、で超然としてゐてはなりません。戦争を生のみり入れるべきであります。

更に、今日はもうないと思ひますが、中には戦争といふ血の流れる事件は幼児には不向きであるを考へる考へ方でもあります。戦は幼児の保育にはきり入れない方がよいといふ所謂平和主義的、國際主義的、人道主義的のさかの教育である。しかし今日日本のしてゐる戦争それ自身を幼児の眼や耳からはなしておくといふ事は今日では許せない。今日なほ、何もなくあの優しき保育に戦を不向きを考へられる向があれば私は之を斷乎反對致します。戦争は勿論人を殺す

ことあります。人道的にみればあまりに幼児にきつては烈しいでありませう。しかし今日の戦は一人の人が相手を殺すといふのではない、國と國とがぶつかつてゐてしかも陛下の御命令によつて戦が行はれてゐるのであります。このことは何の斟酌もなく十分に幼児に傳へるべきであります。その事の當然なる理由を積極的に信ずるのであります。

戦は日々行はれてゐます。それをそのまゝ幼児に傳へたい、保育室にラヂオを具へてその時々大本營發表をきくなり新聞を切抜いてはるなり、それを幼児に語つてやるなりすべきであります。昨日の海戦の發表、昨日私は皆さんにしろくろくの世界情勢を申したのですが、丁度その一日はレンドバ港において皇軍が一日の中、曉、晝、夜三度の大空襲を試みて大戦果をあげてゐるのであります。これは午後三時五十分の發表でありまして、私は残念ながら聞き落しました。實は講習中皆さんにもその時々々の報道をおきかせすべき計畫であつたのですが、その事も出來ないでしまひました。そこで、今朝の新聞に出てゐるをすれば、もし今日保育が開かれてゐるをすれば、この報道をそのまゝ幼児に傳ふべきであります。今日、地圖のかけてない幼稚園はないことと思ひますから、その地圖を指して、こゝでこゝ話すのであります。そこでは撃墜、撃破、炎上を實に非常な事が行はれたのであります。それをそのまゝ話せばよい。

自爆何機といふころまで話すのであります。今日は親が何處かで戦争の報道をきいたなら家に歸つてすぐ子供にそれを話してやる。子供が出先きで聞いたなら家に歸つて、御承知ですか、ミ親に話すべきであります。先生が子供に話してきかせるのも當然であります。判る判らないではない、事實なのであります。昨日のレンドバの戦果は、敵の反攻に對する迎へ討でなく積極的なのであります。實に勵志満々であります。この事を幼稚園では非傳へて下さい。私はいひます。その日の保育案がさうであります。直ちに傳ふべきであります。たゞ問題は、これはどこまでも事實であります。子供にはその感激を傳へればよいのであります。空では傳へられませんか事實をそのまゝ示すのであります。もしこの朝の新聞を読んで幼児に傳へうる感激を持たずに子供に會へる人があれば、その人は、戦時下の保姆さはいへないのであります。個人的な感激でも子供に接する先生の顔色は變ります。まして國家の感激を何等こり得ないので、戦時保育ではありません。しかもこの感激を皆さんは非常な感激で受けうるのであります。幼児はそれはわからないのであります。

そこでこの感激の持つて行ききころが問題であります。その感激を幼児にそのまゝ傳へて、だから皆しつかりなさぬ、さいふのも一の結論であります。これは幼稚園では

さうかと思ひます。大きくなつて云々、さいふのも實はよくわかりません。來年海鷲に志願出来る少年達なら、そこへもつてゆけるのであります。——この感激のもつてゆききころは、はつきり二であります。何故こんなに勝ち得るのか、それは戦つて下さる兵隊さん——子供達はさうよびます——への感謝の感激であります。又それは御稜威のおかげでありますから、もう一つの感激はこゝに來るのであります。この二の結論を以て傳へることは幼児に對しても出来る事であります。これ即ち戦時保育の粹であり、中核であると思ふのであります。御稜威への感激、國の爲に働く人への感謝を、戦時なればこそ子供にかう傳へうるのであります。日本の幼児がこの大戦争の間に、あなたの保育を受けてる事は子供の幸福であり、あなたの幸福であらねばなりません。

幼稚園に戦争をこりいれまいとする考へ違ひの人はないと思ひますが、尙注意したいのは、あまりにもこの感激が連日續く爲に、その時、その時の新鮮潑利な感激を以て子供に傳へることが出来ないかもしれぬといふことでもあります。

五、戦時生活の取入れ

更にやゝ間接的になりますが、今日幼児の家庭、幼稚園

をきりまく社會がこころく戰時生活なのであります。幼稚園に於ける途中において白衣の勇士にあひ、赤禱の人にあひ、節約せる風俗の人を見、國の爲に徵用に赴く勤勞者を見るのであります。この事實が子供に國を愛する心、國の爲に働く心、國の爲に節約する心を養ふのであります。この事に幼稚園は超然としてゐるべきではありません。見た通りそのまゝ子供にそれをさせるのではありませんが、萬一、先生が子供たちの感激を薄めてしまふ事があつてはなりません。先生が短い鉛筆を出して使つてゐる。これは今日は節約の倫理でなく國の爲なのであります。幼稚園の花園を野菜畑にかへたことも單なる農耕ではなく、國に結びついてゐるのであります。私は幼稚園の先生の服裝について重大な問題を考へます。皆さんの服裝はさうならうミ皆さんの勝手でありませんが、幼稚園では先生の服裝を通して服裝の教育をしてゐるのであります。先生が美はしの花守(笑)以外一步も出なければ子供は何ミ思ふでありませんか。教育は戰爭に副はざるものなりと思ひます。これは一つしつかりお考へ願ひます。戰時幼稚園はこの社會の緊張せる生活ぶりをそのまゝ反映せねばならないのであります。

次に此の積極的影響ならべて消極的影響を考へませう。戰爭は悉く積極的で、戰爭に關する限り消極的なもの

はありません。物資が不足すれば、それ丈戰爭の方へ使つてゐるからこゝに積極でありませう。我々が我慢して耐へてゆくのも同様に積極であります。こゝに消極といふ言葉は子供に及ぼす關係においていふのであります。子供の榮養は必ず今日低下してゐるでありません。我々の榮養低下は積極的に意味づけられますが、子供のそれはさうではありませんか。それについて私の喜びにたへない事は、此の戦下に出産率の向上、乳幼児死亡の低下といふこゝであります。しかも今日、それらについての物的條件は何等よくはないのであります。戰はこゝまで缺乏を積極化してゐるのであります。遊んでゐる母の子は少數で、十分に榮養を與へてゐる子の死亡は多かつたのに、今日はこの状態を示してゐるのであります。しかしこの生れる子供が、母乳で育つ乳兒期においては死亡率は減つたが、普通の食物をたべらる乳兒期に於て榮養問題は消極的であります。これについて幼稚園は深く考へなければなりません。子供の榮養状態を絶えず檢診して、家庭と連絡をとり、よくしてゆく事が必要であります。更に物自身の他に、子供をきりかこんでゐる空氣の荒い事でもあります。又戰の報道も御稜威三兵衛さんへの感謝を以て語ればよいのであります。戦はかうだ、大變だぞといふ事は子供の神経を疲れさせます。この消極的な影響に對して、戰時幼稚園の任務は、さうするか

さいますと、之を補つてあまりある皆さんの心持に俟つのであります。皆さんの心持から與へる優しみ、うるほひ、慰めは非常な要求をされてゐます。平時にはにこ／＼顔は他にもあつたのです。皆さんは戦時下において戦に直接なる荒い仕事を何もしないで保育をしてゐるのではありません。他の人は荒い仕事に追はれてゐて、にこにこしたくても出来ない人もありませう。しかれば常以上にうるほひを與へるのは皆さんだけの仕事といつてよいのであります。

皆さんはたゞ子供を預つてゐるのではない、戦争の中の子供のうるほひ者としてのあなた方があるのであります。私共は戦の報道を子供達に傳へた後で、もつ／＼びつくりしろさゆり動かすわけではありません（笑）その後は更ににこやかに、和やかに保育が行はれねばなりません。これが始めに申した戦時下における幼児の心をぢつともつてゐてやる保育者の問題であります。戦時下は物の足りなさ、子供への心の足りなさをお互何ミか補つてゐるのであります。

この他に、幼稚園は何ミいつても物を使ふ教育であるといふ事があります。言葉による事が少い故に物によつてゆくのが特色であります。その物が減つてゐる、肝心な道具が足りないのであります。かうものがなくなつては保育は出来ないといふ人があるかもしれない程に、保育用品が缺乏してゐるのであります。するに今日程幼稚園の先生が

保育用品について工夫を要する時はないといへます。昔は手技に古葉書を使ふ事も數年前までは美しい儉約であつたのであります。今日は紙がないのであります。その意味で國民全體が乏しきに耐へやりくりしてゐるのであります。國はそれでよいにしてゐるのではありませんが——我々の側からすれば國が何ミかしてくるのを待つてはられないのであります。何ミいつても戦争中には、あの幼児を相手にしてそんなに無條件に思ふ存分のこゝは出来ませんが、平時では到底出来ない感謝感激が保育を力づけてくれるのが一、二には皆さんの子供に對する愛情が戦時保育をしてくれるこゝであります。今日は子供が尙いぢらしい時であります。物はないが、工夫が戦時保育をしてくれます。この事を以て戦時保育の問題についての話を終りますが、戦争はあなたを通しては積極的保育をなしうるといふ事をはつきり申し上げるのであります。

附言

次に私の演説の豫告に幼児保育者指導の要諦といふ問題がついてゐました。この問題は今迄の問題と別であります。時間がありませんのでこれについて何を皆さんに申し上げやうとしたかだけを申します。戦時保育の必要は保育専門家が痛感するだけでなく、今日國全體がそれを感じてゐるのであります。一例をあげ

れば、農繁期託児所の必要の一層認められた事、隣組活動の中に幼児保育がよりあげられてゐる。こゝ、大日本婦人會、大政翼贊會もまた之をよりあげてゐる事、更にこの夏は、幼児を公園に集めて保育することが非常に行はれてゐる事なごであります。今日此處へ来る途中、その世話をしてゐる人にあつていろいろ話したのですが、六十校の女學生がこれにあたり、到る處の公園に開かれてゐるのであります。幼稚園、保育所さいふ専門的なところをする以外、到る處で行はれてゐるのであります。又あはせて、今日改正されました學制の中で師範學校は幼児教育實習を重んじ、實習期十二週の中の二週を附屬幼稚園或は代用附屬幼稚園において實習すべしと示されてゐます。高等女學校では家政科家政の中に幼稚園託児所で保育の實習をすべしとあり、育児についても同様であります。私は實に保育が國中に溢れてゐるやうに思ふのであります。その時に、誰がその任にあたるかであります。師範生に實習させるには幼稚園の先生がこの指導にあたるのであります。この指導者が澤山要るのであります。女學生の場合も亦同様、更に社會的のこの仕事には素人があたるのであります。是等の指導には幼稚園、保育所の先生以外に指導者はゐません。是等の方々が幼稚園、保育所から一

歩出て指導しなければならぬところに、擴張されてゐる國の保育運動に参加されて隣組の母、娘達を指導するのは皆さんの他にない、國の保育に参加する皆さんにしてお仕事かふえたのであります。専門家としての立ちになつてゐる皆さんの雙肩にかゝつてゐる任務なのであります。これを以て講義を終ります。(完)

○大東亞戰爭が始まつて正に二ヶ年。戦線はいま最も苛烈を極めてゐる。我皇軍の善謀勇戦は寡兵よく敵の大軍を屠り、到る處輝く戦果を擧げて一億國民を感激にひたらせてくれている。併し、その戰爭の詳報を聞く度に、我が軍は常に、兵に於ては武器に於ても敵の何分の一の劣勢に當つてゐるのである。この點、國民として實に前線の將兵に對してお申譯ない限りである。今國內はこれ等武器の増産に、總員戰團配置についてゐる。われ等も亦この意氣で、來る年も吾等の職域に御奉公致し度いと思ふ。

○十一月本誌に掲載してある日本幼兒飛行機納貯金の提唱は至る所同感共鳴を得、早くも御送金下さつた幼稚園もある。當附屬幼稚園でも十一月に引き續いて幼兒の貯金を實行し、保母も父兄も之に参加して、一切の二月末までには相當の額にし度いと意氣込んでゐる。又、父兄も各園に於かれては是非お知り合ひの幼稚園、又はどうかもお誘ひになられて、出来るだけの多額にして、獻納して頂き度い。御協力を切に切に希望する次第である。

◎振替貯金にて御送金の方へ

「幼兒の教育」十一月號にて申上げました通り、十一月一日より振替料金の改正に伴ひ、振替貯金にて會費其他を御送金の方は振替料金を御加算の上御送金下さいますやう御願ひいたしました。就きましては此振替料金を御加算なしに御送金になりました方には其御送金の中より振替料金を差引きます、右御諒承下さい。

日本幼稚園協會係り